

診察に看護師が同席することによるメリット、デメリット

—より良いチーム医療をめざして—

吉祥寺病院

◎中馬 ^{ちゅうま} 圭一 ^{けいち} (看護師)

境野 一雅 (准看護師)

田辺 勝志 (看護師)

黛 弘美 (准看護師)

1. 目的

診察後に患者様は看護師に治療に対する不安を訴えることがあり、医師に十分な意思伝達できていないのではないかと疑問に感じた。そこで、診察状況を把握し、医師と連携しながら患者様が抱える不安を軽減し問題解決に結び付けていくことが必要と考えた。

今回、診察時に看護師が同席して、診察中の状況や患者様が抱えている問題点を理解し、看護師としての役割を明らかにする。

2. 方法

(1) 研究期間：2008年6月1日～10月31日

(2) 研究対象：医師…19名 PSW…9名 看護師…105名 入院患者様…2名

(3) 研究内容：医療者対象に「看護師同席」についての意識調査をアンケートと患者様を対象に診察時のアンケートを実施した。

3. 結果・考察

(1) 医療者全体：良い…39% 良くない…4.5% どちらとも言えない…56.8% 看護師が同席することで患者様が不穏になってしまう心配があるとの理由から、どちらとも言えないとの答えが一番多かった。

(2) 患者様2名：A氏…同席は了解したが診察中は緊張していた。医師に看護師への不満が見られていたが、同席後は無くなった。また、以前は殆ど看護師へ訴えることはなかったが、同席し徐々に看護師へ訴えることが出来るようになった。B氏…同席はどちらでも良い。診察中は緊張はあるが満足出来たとのこと。同じ空間で父と過ごすことが出来ない問題点に対する医師の方針を三者で確認し実践することが出来た。今回、実施した患者様2名を検証すると、主治医2名の意見は必要性に応じて看護師の同席を認めている。実際に看護師が同席することで患者様の状態を把握することが出来、医師の指示を確認しながら患者様に補足説明出来る。また、患者様にとって治療方針が納得出来れば安心して治療に専念出来ると考える。患者様の診察時、不安・緊張が高まるデメリットをメリットへ変えていくことで社会的自立が養われ、退院へと目標達成することが出来る。

5. 結論

①メリット・・・医師と連携し治療方針が明確となり患者様の援助が出来る。

②デメリット・・・診察環境の変化で患者様の不安・緊張が高まる。